

加賀友禅の伝統に 新たな息吹をもたらす

か が ゆうぜん × たかた かつや
加賀友禅 × 高田 克也 [石川県金沢市]

加賀友禅の伝統技術を保存し、後継者を育成することを目的に開催する「伝統加賀友禅工芸展」で、昨年金賞を受賞した高田克也さん。富山県南砺市の福光で生まれた高田さんは、親戚に加賀友禅の染屋があり、母親も手描き友禅の糸目糊を引く仕事をしていたことから、加賀友禅を身近に感じる環境で育ったそうです。大学卒業後に弟子入りし、13年の修業期間を経て独立。現在は金沢市内に工房を構えています。

金賞受賞作の訪問着「望郷」は、コロナ禍で晴れ着の需要が減るなか、高田さん自身が描きたいものと向き合って作りあげた作品。故郷である福光の記憶をたどり、地元の自然や雪のかかる松をモチーフに心象風景を丁寧に描くことで、写実性の高い加賀友禅の新たな表現を目指しています。



●訪問着「望郷」 第44回伝統加賀友禅工芸展 金賞
雪と松をモチーフにデザインしたなかに、医王山(いおうぜん)の山並みや小矢部川の流れなど、記憶のなかの故郷の風景も描かれている。



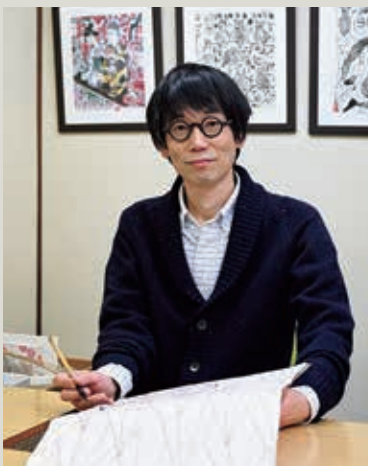
●訪問着「雲中供養菩薩像」
取材旅行で訪れた宇治平等院 鳳凰堂で着想を得て、雲中供養菩薩像に守られるよう願いを込めて制作した。



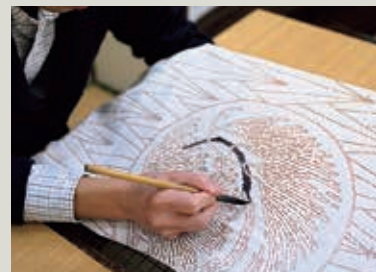
●カードケース
コロナ禍をきっかけに着物だけではなく、気軽に手に取れる小物の制作にも取り組んでいる。

【高田染飾工芸】

石川県金沢市材木町13-50
TEL:090-8093-0586



独学したという膨大なスケッチが作品の着想の源になっている。



下絵の線に沿って糊を引いた輪郭の内側に、筆や刷毛で彩色していく。

高田 克也 (加賀友禅 伝統工芸士)

1974年 富山県南砺市(旧福光町)生まれ
1997年 杉浦伸氏(加賀友禅作家)に師事
2003年 鶴見保次氏(加賀友禅作家)に師事
2010年 独立
2013年 金沢市ものづくり奨励賞
2022年 石川県現代美術展 初出品初入賞
第44回伝統加賀友禅工芸展 金賞

紹介動画は
こちらから

